

# 多剤併用によるさまざまな 有害事象について

山田静雄（やまだしずお）特任教授  
静岡県立大学大学院薬食生命科学総合  
学府薬学研究院薬食研究推進センター長



高齢者は、慢性疾患の生活習慣病など複数の疾患を併発するため、5～6剤以上の多剤併用(ポリファーマシー)の患者が多く、有害事象（口喝、便秘、食欲低下、尿閉、低血圧、フレイル、うつ状態、認知機能低下や転倒など）の発症との関連性が指摘されています。多剤併用がもたらすさまざまな有害事象、老年症候群との関連性、薬剤性有害事象を回避する安心・安全な薬物治療などにつき文献的報告を解説します。

プランナー：渡邊順子 静岡県立大学看護学部教授



日程：2019年5月18日（土）

時間：13時30分～15時30分

会場：ウインクあいち

12階1203中会議室A

名古屋市中村区名駅4丁目4-38

参加費：会員 1,000円

非会員 2,000円

詳細および申込み方法につきましてはホームページに掲載予定です

東海地方会事務局 日本福祉大学看護学部内  
〒477-0031 愛知県東海市大田町川南新田229  
お問い合わせ先：jsnrtokei-info@ml.n-fukushi.ac.jp